

～塗り絵の風景を訪ねて～

福の舟溜まり周辺マップ

大野川緑陰道路や淀川河口などの自然に囲まれた西淀川区・福エリア。

古くから漁師町として知られ、現在も淀川で漁を行う船の姿を目にすることができます。

四季折々の自然に包まれ、漁師町の名残をとどめる街並みを眺めながら気ままに歩いてみませんか。



1 大野せせらぎの里

微生物などの自然の浄化作用を利用して水をきれいにする「安定池」を中心に、遊歩道が整備された公園。池の中には鯉やカメが生息しており、せせらぎに耳を傾けながら自然を満喫できるスポットです。

- ※ 福駅下車 徒歩約14分
- ☎ 06-6474-5788 (大野下水処理場)
- 🕒 9時30分～16時
- 📅 休・火曜 (祝日の場合は翌日)



4 西島水門

明治29年に始まった新淀川の開削工事に伴い、西島川を締め切り、新淀川と西島川の舟運の確保と洪水を防ぐために、明治43年に西島閘門(こうもん)が竣工。その後、昭和35年に水門に改築されました。

- ※ 福駅下車 徒歩約20分



3 福住吉神社

江戸時代の初めに福町の開発が進んで漁民が増え、1656年に航海の安全と豊漁を願って住吉大神を勧請。海の守護神としてはもちろん、太平洋戦争までは当地から一人の戦死者もなく、戦時中の空襲や致命的な水害にあわなかったことから、地域の厄除け・開運の神様として信仰されています。

- ※ 福駅下車 徒歩約6分
- ☎ 06-6472-4640



2 大野川緑陰道路

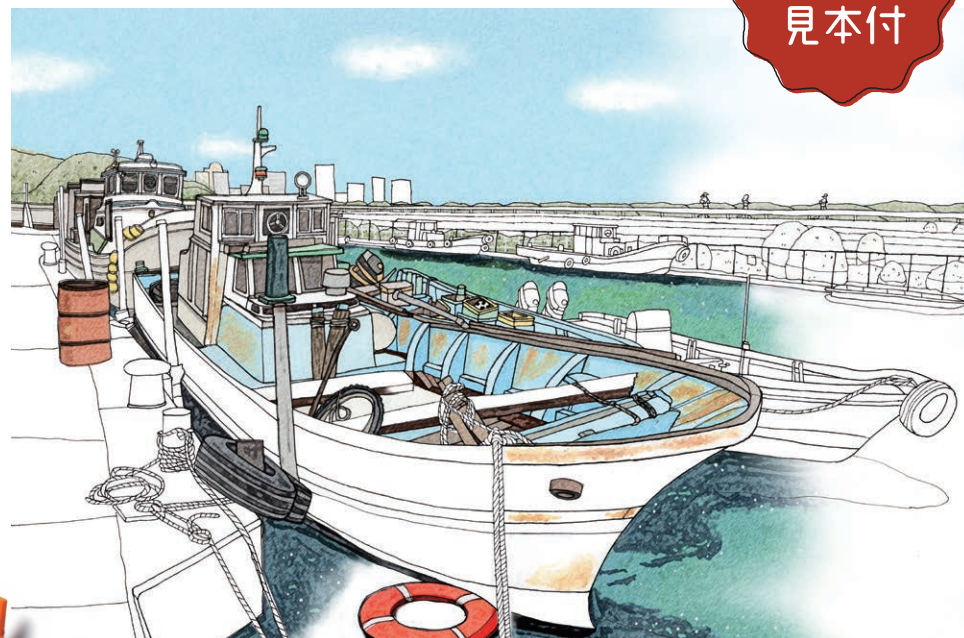
公害対策と環境改善を目的として、旧大野川等を埋め立てて整備された、全長約3.8kmの歩行者・自転車専用道路。沿道には、高木約1万本、低木約12万本、約100種類もの樹木があり、四季折々の景色が楽しめます。

- ※ 福駅下車 徒歩約3分

ぬりえ旅 阪神

ぬりえが誘う、旅ゴコロ。

すぐ塗れる！
見本付



絵:もふもふ堂

「#ぬりえ旅 阪神」SNS投稿キャンペーン

TwitterまたはInstagramで阪神電車公式アカウントをフォローのうえ、完成させた塗り絵作品の画像を「#ぬりえ旅 阪神」をつけて投稿してください。抽選で2名様に「60色色鉛筆」が当たります。



「ぬりえ旅 阪神」WEBアンケートも合わせて実施します

あなたが塗り絵にしたい阪神沿線のスポットや感想、ご意見をお聞かせください。抽選で10名様に「図書カード」1,000円分をプレゼントします。

締切:2020年3月15日(日) ※SNS投稿キャンペーン、WEBアンケート共通



詳しくはホームページをご確認ください。

ぬりえ旅 阪神 検索

<https://www.hanshin.co.jp/nurietabi/>

福駅
(福の舟溜まり)



塗り絵スナップ紹介



「福の舟溜まり(福漁港)」は、大阪市内に残る数少ない漁港の一つ。かつては神崎川や、現在は緑陰道路となっている大野川の沿岸でも漁が行われ、大正から昭和初期にかけて最盛期を迎えましたが、戦後の近代化に伴う環境問題などにより、魚は獲れるのに売れない時代へ。その後の改善により、近年では漁獲量も持ち直し、イカナゴやジミ、スズキなどが水揚げされています。お正月には、縁起のよい大漁旗を掲げた船の姿を見ることができます。

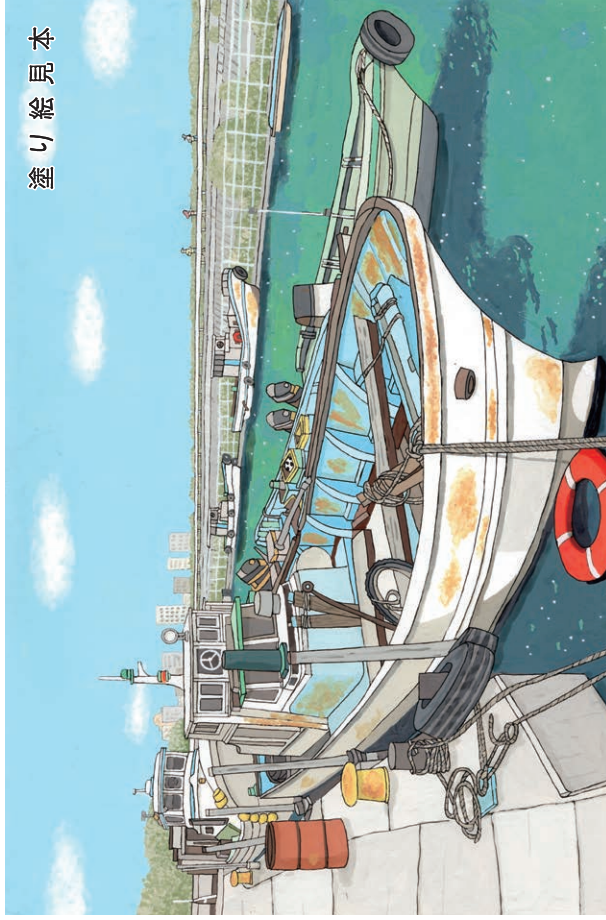
- 作家プロフィール
もふもふ堂

昭和の懐かしい神戸の風景を「箱庭」にとらえたトイボックス的イラストの制作を行っています。「毛布に包まって眠るしあわせのように、見る人の心にやさしさを届けたい」——もふもふ堂の作品は、そんな想いから生まれています。

【作家公式サイト】

<https://motumotudo.amebaownd.com/>

「ぬりえ旅 阪神」のホームページでは、アドバイズ動画や塗り絵の効用についても紹介しています。



絵:もふもふ堂「福の舟溜まり」



大人の塗り絵 ワンポイントアドバイズ

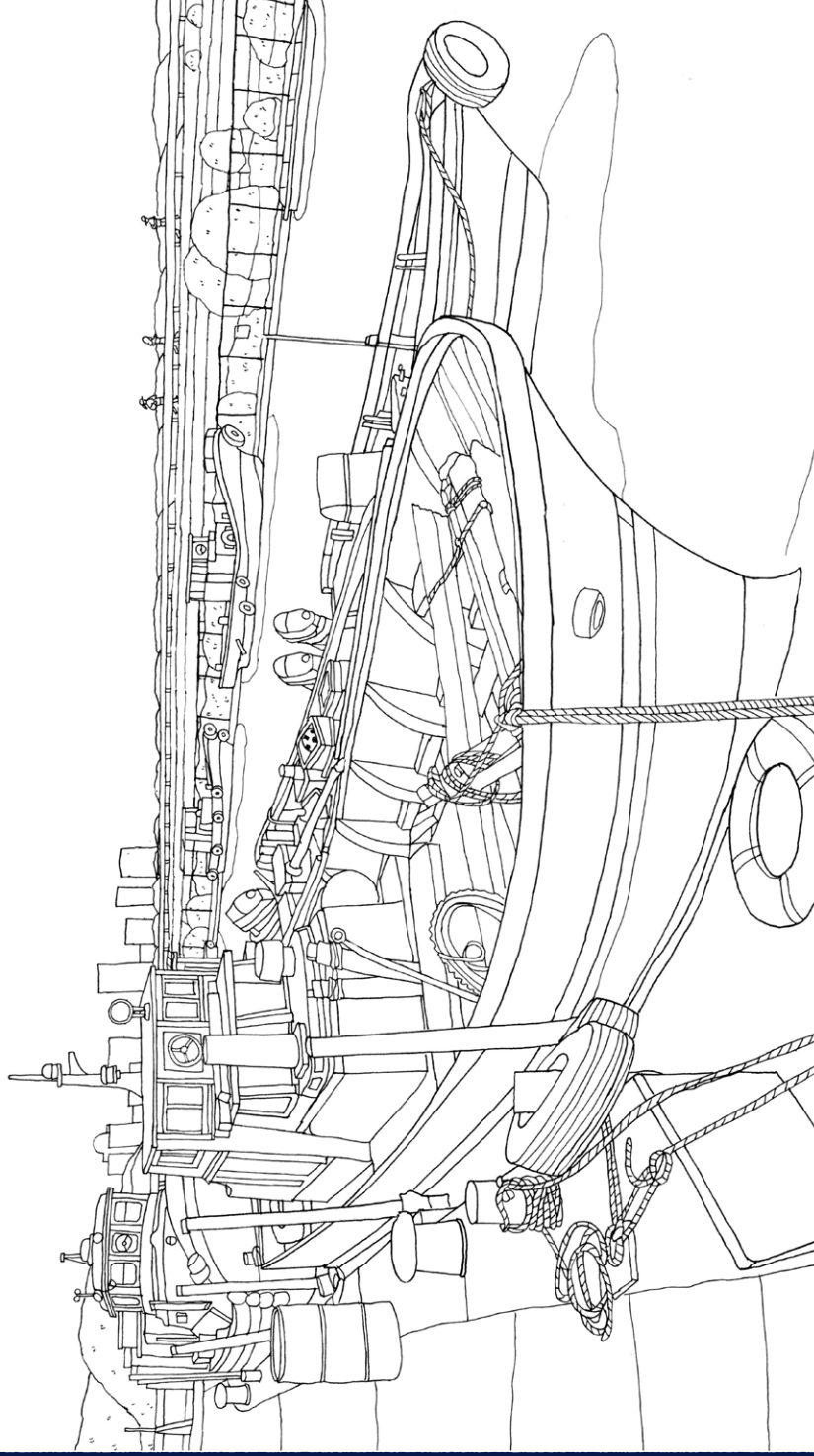
輪郭を線で描かず、面塗りで表現するのが「大人の塗り絵」。薄い色を全体に塗り、陰をつけて立体感を出し、最後に様々な色を混ぜて仕上げていきます。ゆっくりに塗りましょう。

POINT-1 「さび」

さびに近いオレンジ系の茶色を濃淡をつけてさびを描く感覚で塗ります。その上に薄い灰色や黄土色を重ねます。舟の白はそのまま塗り残さず、白を全体に塗ってから灰色や水色などの淡い色を薄く塗り分けましょう。

POINT-2 「海」

海面に映る舟の影は紺色、灰色、紫色を繰り返して塗り重ねます。色を近づけるだけでなく、海面の揺らぎが感じられるようにしましょう。光が当たっている明るい色の海面は、水色と黄色っぽい水色に分けましょう。



絵:もふもふ堂